２０２７　年度　北里大学北里研究所病院　（病床数　317）【1年次】

受入人数	【1年次】2名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	￥261,400		有		有	有	（記入例） 平日8:30～17:00 土曜日8:30～12:30	12		有	有	約5回	有	公的医療保険・公的年金保険（日本私立学校振興・共済事業団）、労働災害補償保険

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	指導医数は18名。呼吸器、消化器、腎臓・内分泌・代謝・脳神経内科を各々約9週間単位で研修を行う。救急（内科系救急）としても研修する。専門各科をローテート中も総合内科として、一般的な疾患は継続して研修する。内科研修中の受け持ち患者数は概ね10名程度。一般的な疾患から、まれな疾患、あるいは重症例まで幅広く経験できる。緩和ケアや感染コントロール等のチーム医療への参加も奨励している。病理解剖を積極的に行い、CPCを隔月で開催しており、研修医の発表の訓練の場を提供している。体腔液の採取、中心静脈カテーテルの挿入、骨髄穿刺等は、指導医の監督下で安全に行えるようになることを目標とする。内科研修中に、定期的に皮膚科、眼科の外来研修を行い、一般内科医に必要な手技、知識を滋養する。
救急科	循環器疾患を中心とした計12週間の救急科研修で基本的な診療能力を修得することを重視した研修を予定している。また院内で開催されているBLS講習会やACLS講習会等で実践的な心肺蘇生講習指導を受けることが可能であるとともに医師として一般職員への指導も経験する。
外科	指導医数は、5名。消化器外科では、大腸癌、胃癌、食道癌、肝臓癌、膵癌などの手術療法、化学療法、放射線療法、免疫療法につき広範に臨床体験をする。手術療法では、腹腔鏡手術による最新の胃、大腸、膵、肝臓の治療を習得する。良性の炎症性腸疾患（クローン病や潰瘍性大腸炎）の手術やそけいヘルニア（TAPP法）の症例も豊富である。乳腺外科では、センチネルリンパ節生検と縮小手術、術前・術後の補助療法や再発に対する化学療法などを習得する。呼吸器外科では、肺癌、縦郭腫瘍や、気胸なども多く経験することになる。市内の一般病院でよく遭遇する急性虫垂炎、肛門疾患などの良性の手術症例も豊富で、それらの手術を中心に診断・術式・周術期管理・外科基本手技を取得できる。
小児科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
産婦人科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
精神科	精神症状を把握し、精神科診断を行い、自ら治療する能力を身につけるか、専門家にコンサルトするためにスクリーニングする能力を身につける。対象となる精神症状は精神科受診患者以外でもみられやすいものとする。
一般外来	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
麻酔科：基本的に4週間ローテーションとしています。

○研修アピール
1）当院は、東京の都心にある一線の臨床病院であり、多くの病院との競合の中で、高度な医療内容とわかりやすい患者への情報公開を柱に、多くの患者を集めている。疾患によっては他府県からの患者も受け入れている。そのため、本研修プログラムでは豊富な症例を通じて、急性疾患のプライマリ・ケアのみならず、高度な先進医療への橋渡し、慢性疾患管理、終末期医療にも取り組むことができる臨床研修ができることに主眼を置いている。（患者に最高の医療を提供できる環境を提供できる医師を育てること）
2）少ない研修医を多くの指導医が、至近距離で指導し、技術や思考法、また患者への対応法を個別に実践指導する。さらに経験豊かで、著名な医師達も積極的に研修医の指導を実践しているところが、当院の特徴である。
3）指導医の背中を見て学ぶという本来の医療を学ぶ姿を残しつつ、チーム医療、先端医療の方向性を打ち出す姿勢を基本としている。
4）高度ながん医療を提供するため、治療体制・教育体制・緩和ケア体制が整った環境の中で研修することが出来る。
5）臨床倫理に特化した医の倫理委員会が、倫理コンサルテーション等を行っており、研修医の倫理的感受性の涵養に努めている。

○研修医からのメッセージ
港区白金にある317床の病院です。ベッド数だけ見ると大学病院と比べて遥かに少ないですが、臨床研修医にとってみれば全体を把握出来てちょうどいい規模だと思います。研修医は少ないですが、症例に巡り会えるチャンスは多いと思います。指導医の数が多く熱心に教えてくださり、また直接の指導医ではなくてもコンサルトしやすいのも魅力です。手技を数多くこなしたい方、学会発表や論文作成に重きを置きたい方、どちらも満足いく研修が出来ると思います。
各科の一線の専門医の先生方が直接指導してくださるのが最大の魅力です。カンファレンスや勉強会も充実しており、医師なってからも学習を継続することの大切さを学びました。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：事務部総務課・小日向、渡邊
住所：東京都港区白金5-9-1
TEL：03-5791-6143
E-mail：kyomu-hk@insti.kitasato-u.ac.jp